

# 世界銀行債券ファンド（毎月分配型）

愛称：ワールドサポーター

## 2016年6月～2017年5月の運用状況と 今後の見通しについて

平素は弊社投資信託に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当ファンドは相対的に利回りの高い、新興国通貨建ての世界銀行債券に投資を行なうファンドです。高い金利収入と為替の値上がり益の獲得をめざしつつ、信用力の高い世界銀行債券に投資を行なうことで、信用リスクの低減を図ります。また、新興国通貨は為替変動リスクが先進国通貨と比較して大きくなる傾向にあるため、幅広く分散投資を行ない、為替変動リスクの低減をめざします。

今回、2016年6月から2017年5月までの当ファンドの運用状況と今後の見通しについてのレポートを作成いたしましたので、ご一読いただければ幸いです。

なお、2017年5月末時点では、以下の国の通貨建ての世界銀行債券に投資を行なっています。

### 投資通貨の国



※上記の投資通貨の国は2017年5月末時点のものであり、将来変更される場合があります。

運用概況 (2016年6月～2017年5月)

World  
Supporter

- 当該期間において、新興国市場は総じて好調に推移しました。英国のEU(欧州連合)離脱選択や米大統領選など、一時的に市場の変動性を高める要因はあったものの、それらは主として新興国外での事象であったことが特徴です。
- 新興国市場は、そうしたイベントの度に下落圧力に晒されたものの、早期の回復を繰り返してきました。背景としては、商品価格の上昇や世界経済の回復を受けて、新興国のファンダメンタルズが改善傾向にあること、また、新興国の政治的リスクが相対的に低下していることなどが挙げられます。
- 為替市場では、2016年11月の米大統領選後、主要通貨に対して円安が進行しました。そうしたことから当ファンドの基準価額も上昇し、当該期間における騰落率は9.22%(税引前分配金再投資ベース)となりました。

基準価額と純資産総額の推移 (2007年6月21日(設定日)～2017年5月31日)



	2016年5月末	2017年5月末		2016年5月末～2017年5月末
基準価額	3,001円	3,022円	騰落率	9.22%

※ 基準価額は税引前分配金控除後の1万口当たりの値です。  
 ※ 騰落率は税引前分配金再投資ベースの値をもとに算出しています。

※ 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。  
 ※ 税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。

当資料は、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA」の運用会社である日興アセットマネジメント ヨーロッパリミテッドからのコメントをもとに作成しています。当コメントは、資料作成時点における市場環境もしくは今後の運用方針等について、運用担当者の見方あるいは考え方を記載したものであり、運用方針は変更される場合があります。また、将来の市場環境の変動や運用成果等を保証するものではありません。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「世界銀行債券ファンド(毎月分配型)／愛称:ワールドサポーター」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

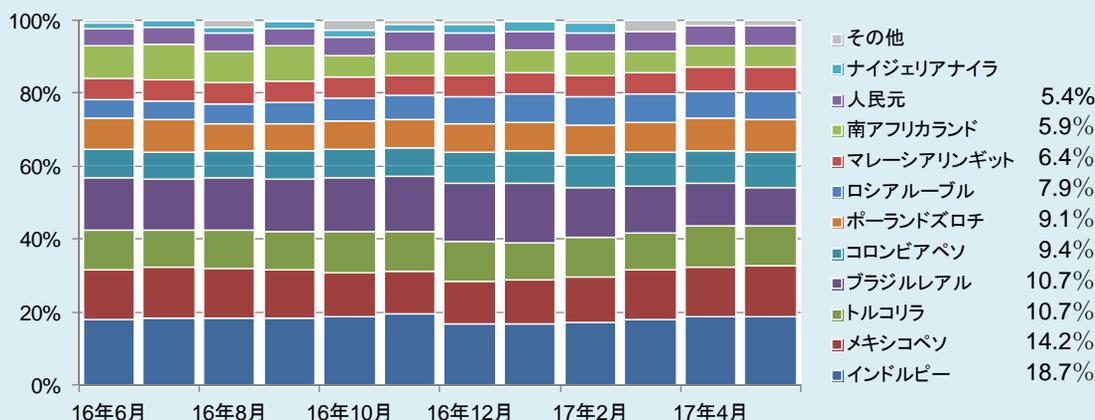
## 投資通貨と基準価額騰落の要因分解 (2016年6月～2017年5月)

World  
Supporter

- 当ファンドでは、当該期間において、インドルピーやメキシコペソの組入比率を上位に保ちました。ブラジルレアルは、上昇が大きかったことなどから、適宜組入比率の調整を行ないました。
- 2016年6月以降、堅調な原油価格が景気回復を後押しするとみて、ロシアルーブルの組入れを開始しました。また、金利水準が極めて高いナイジェリアナイラを低位に組入れていましたが、今年3月に全て売却しました。

外国通貨別構成比の推移 (2016年6月末～2017年5月末)

(2017年5月末現在)



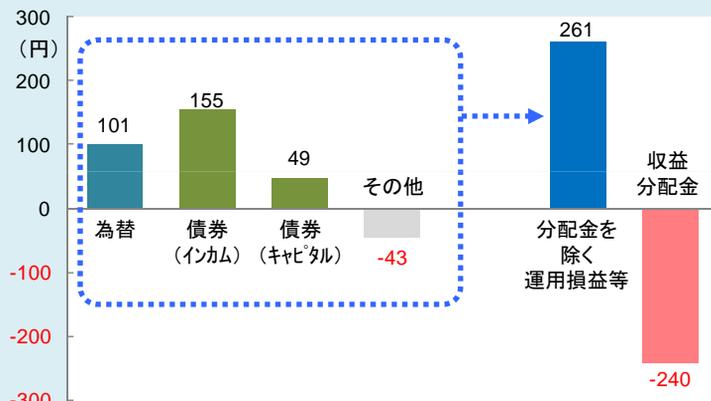
※ 上記は、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA」の運用会社である、日興アセットマネジメントヨーロッパリミテッドからの情報をもとに作成しています。  
 ※ 上記は、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託の通貨別構成比率であり、外国投資信託の純資産総額に対する比率です。  
 ※ その他や端数処理の関係で合計が100%とならない場合があります。

- 相対的に高い新興国債券のインカム収益が基準価額を下支えするとともに、主要通貨に対して円安が大きく進行したことから、為替差益もパフォーマンスに貢献し、運用損益はプラスとなりました。

基準価額騰落の要因分解 (2016年5月末～2017年5月末)

【左グラフにおける通貨別為替要因】

(単位:円)



ブラジルレアル	52
南アフリカランド	48
ロシアルーブル	41
インドルピー	27
ポーランドズロチ	15
コロンビアペソ	13
ユーロ	0
マレーシアリングギット	-6
メキシコペソ	-8
中国人民幣元	-9
ナイジェリアナイラ	-18
トルコリラ	-53
合計	101

※ 上記は、当ファンドの基準価額(1万口当たり)における騰落を要因分解したものです。  
 ※ 上記要因分解は概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご参照ください。また、四捨五入の関係で合計が一致しないことがあります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「世界銀行債券ファンド(毎月分配型)／愛称:ワールドサポーター」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## ポートフォリオの状況

World  
Supporter

### 主要投資対象ファンド\*について

\*「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA」

#### 【ポートフォリオ特性値】

(2017年5月末現在)

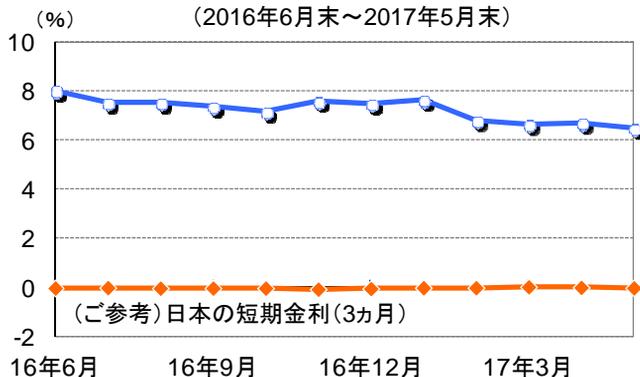
ポートフォリオの最終利回り	6.49%
ポートフォリオの直接利回り	5.24%
ポートフォリオの平均残存年数	1.04年

- ※ 利回りは、個別債券および短期金融資産について加重平均したものです。最終利回りは、債券および短期金融資産を満期まで保有した場合の利回りです。
- ※ 利回りは将来得られる期待利回りを示すものではありません。

- ※ 上記は、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA」の運用会社である、日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッドからの情報をもとに作成しています。

#### 【最終利回り推移】

(2016年6月末～2017年5月末)



信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

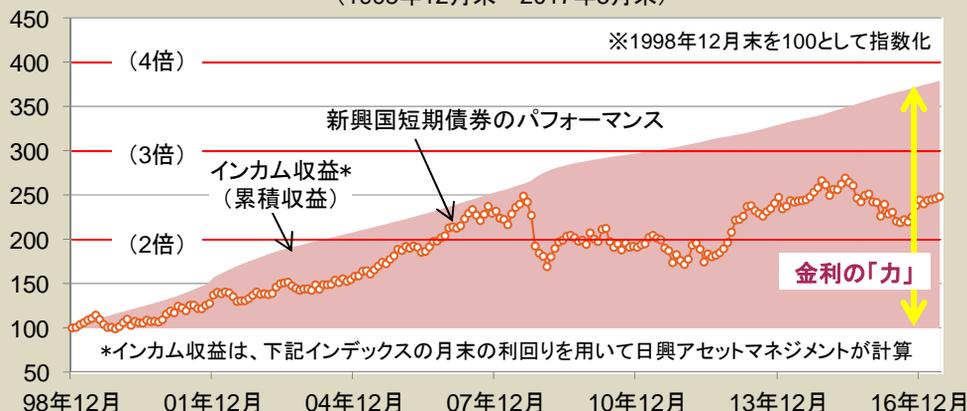
### ご参考

### 投資成果を下支えするインカムの力

- 海外債券投資において、パフォーマンスをけん引する要因の一つに債券のインカム収益が挙げられます。当ファンドが投資対象とする新興国通貨建債券は、**相対的に金利水準が高く、中長期的なインカム収益の積み上げ**が期待できます。
- 当ファンドは高い信用力を持つ世界銀行債券を投資対象とするため、**信用リスクを抑えながら**相対的に高いインカム収益を獲得することが期待できます。また、**金利変動リスクを抑制**するために、短期債券を中心に投資を行ないます。

#### (ご参考)【新興国短期債券のパフォーマンス(円ベース)】

(1998年12月末～2017年5月末)



※新興国短期債券: JPモルガン・エマージング・ローカル・マーケット・インデックス・プラス(米ドルベース)を円換算

※上記指数は当ファンドのベンチマークではありません。

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

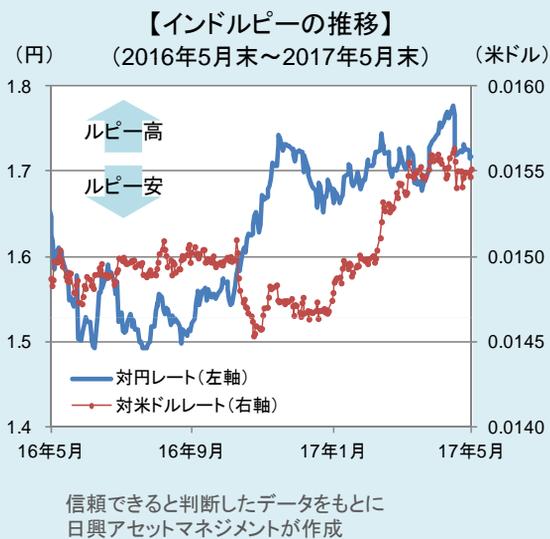
当資料は、投資者の皆様へ「世界銀行債券ファンド(毎月分配型)／愛称:ワールドサポーター」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## 主な投資通貨国の状況について①

World  
Supporter

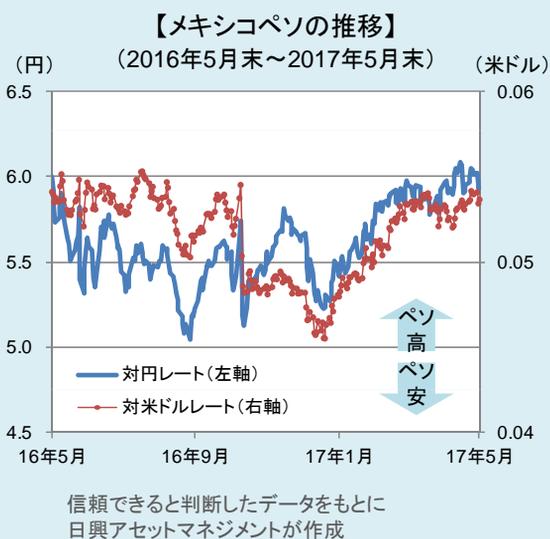
### インド：改革の推進とともに期待される、さらなる経済成長

- モディ首相による改革が、インドの長期的な成長率見通しを引き上げています。政府は現在、州ごとに異なる間接税を全国で一本化する「物品・サービス税」の導入を予定しており、**事業環境の向上と更なる経済成長**が期待されます。
- 金融システムの強化や効率性の向上をめざした銀行改革が進行しています。昨年、企業の破綻処理手続を円滑にするための「破産・倒産法」が制定されましたが、これにより**銀行の不良債権処理が促進される**ものと見込まれます。
- 昨年11月に実施された高額紙幣の廃止は、一時的な社会の混乱を招いたものの、足元では落ち着きを見せており、今後は**脱税と汚職の減少につながる**と期待されます。
- 同国は内需主導の経済構造を持つことから、海外要因などの影響を比較的受けにくいとみられます。こうしたことから、同国は引き続き、**非常に有望な投資先である**と考えます。



### メキシコ：市場心理の改善などから通貨は上昇基調

- 昨年半ば以降、保護主義的な政策を掲げる、米国のトランプ氏の言動を受け、メキシコの消費者や企業の心理は冷え込み、通貨ペソにも売り圧力が強まりました。しかし米大統領就任後、同氏の政策姿勢が軟化するに従って**市場心理は改善し、為替市場も落ち着きを取り戻しています**。
- また、中央銀行がインフレ率の管理をめざし、積極的な利上げを行なっている点も、通貨の下支えとなっています。足元でペソは上昇基調にあります。長期的には依然として割安な水準にあるとみられ、**さらなる上昇余地**があると考えられます。
- 同国はこれまで、自動車などの製造業を中心に、米国への輸出を牽引役として成長を遂げてきました。しかし今後は、労働市場の改善を背景とした**国内需要の伸びが、同国経済を牽引**するとみられています。
- なお、2018年に実施される総選挙はリスク要因ではありますが、進行中の改革は継続される見込みです。



当資料は、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA」の運用会社である日興アセットマネジメント ヨーロッパリミテッドからのコメントをもとに作成しています。当コメントは、資料作成時点における市場環境もしくは今後の運用方針等について、運用担当者の見方あるいは考え方を記載したものであり、運用方針は変更される場合があります。また、将来の市場環境の変動や運用成果等を保証するものではありません。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「世界銀行債券ファンド(毎月分配型)／愛称:ワールドサポーター」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

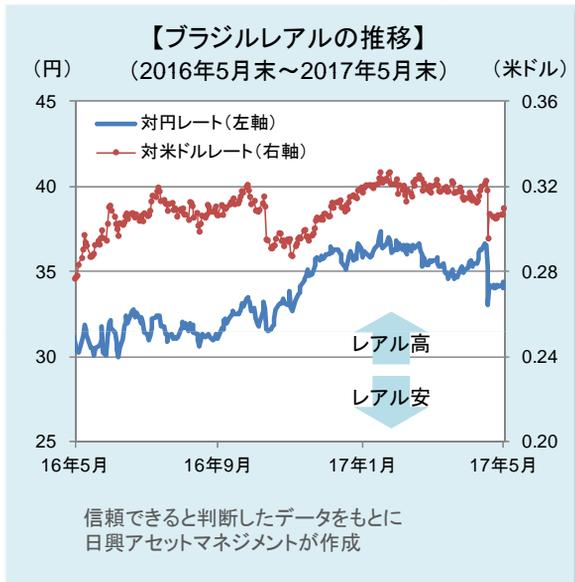
## 主な投資通貨国の状況について②

World  
Supporter



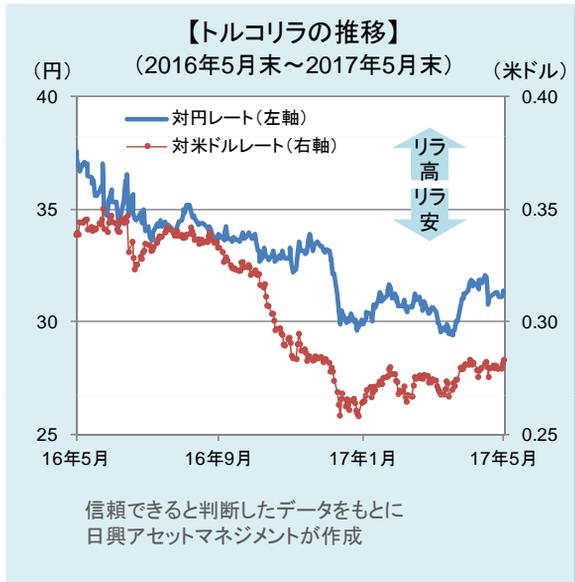
### ブラジル : 政治リスクの再燃に伴ない、改革の停滞が懸念される

- 今年5月、テメル大統領が汚職事件に関与したとの疑いが持ち上がり、通貨レアルは急落しました。政治リスクの再燃により、今後数カ月は進行中の経済改革の停滞が予想されるものの、**改革の方向性に変化はない**とみています。
- ただし、昨年成立した歳出上限法に続き、ブラジル財政改革の要とされる年金改革法案の成立が遅延する可能性が高まっており、今後の展開を注視する必要があります。
- また、同国中央銀行は景気てこ入れのため、継続して政策金利の引き下げを実施していますが、政治的な不透明感から、利下げのペースは緩やかになる可能性があります。
- なお、同国では資源価格の上昇を背景に輸出が大幅な伸びをみせる一方、国内経済の停滞によって輸入は減少しており、**経常収支の改善が進む**など、**対外的な脆弱性は低下傾向**にあります。



### トルコ : 政治リスクは低下、景気回復や金融引き締めが通貨の下支えに

- 今年4月に、大統領への権限集中を柱とする憲法改正の是非を問う国民投票が実施され、エルドアン大統領率いる改憲賛成派が僅差で勝利しました。そうしたことから、**足元では政治的な不透明感が和らいで**います。
- 同国の景気は持ち直し傾向にあり、政府による景気刺激策や、リラ安を背景とした輸出増加が成長を後押ししているとみられます。相対的な政治の安定が続けば、こうした**ファンダメンタルズの改善が通貨の押し上げ要因になると**期待されます。
- インフレの抑制や通貨の安定をめざし、中央銀行は足元で引き締め的な金融政策を行なっています。声明では、インフレ見通しが大幅に改善するまでこうしたスタンスを継続するとしており、**金利の上昇が通貨を下支えする**とみられます。
- 一方で、シリアとの衝突など、同国の地政学リスクが高まる可能性もあることから、引き続き慎重に状況の見極めを行なっていきます。



当資料は、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA」の運用会社である日興アセットマネジメント ヨーロッパリミテッドからのコメントをもとに作成しています。当コメントは、資料作成時点における市場環境もしくは今後の運用方針等について、運用担当者の見方あるいは考え方を記載したものであり、運用方針は変更される場合があります。また、将来の市場環境の変動や運用成果等を保証するものではありません。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「世界銀行債券ファンド(毎月分配型)／愛称:ワールドサポーター」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## 今後の見通しについて

World  
Supporter

### 新興国の経済成長は加速する見込み

- 商品価格の上昇を背景に、多くの新興国では交易条件が改善基調にあります。また、牽引役となる中国が安定的な経済成長を維持しているほか、他の新興国経済も回復を示しており、近年鈍化傾向にあった**新興国経済の成長率は、再び加速するもの**と見込まれます。
- **新興国経済を取り巻く環境は、引き続き安定したもの**になるとみています。米利上げペースの鈍化観測や、新興国通貨の脆弱性改善、堅調な商品市況などが今後も新興国経済を後押しすると期待されます。

### 【実質GDP成長率(前年比)の推移】

(2008年～2018年予想)



### 高成長が期待できる国や資源国に注目

- 今年に入り、南アフリカやトルコ、ブラジルなどで政治的な不透明感が高まり、一時的に市場が混乱する場面がありました。しかし、ほとんどの国では大きな波乱は過ぎ、**足元で市場心理は回復傾向**にあるとみられます。
- 当ファンドでは、新興国市場全体の先行きに関して楽観的な見方をしていることから、ブラジルやロシア、メキシコといった、**景気回復が期待できる国の通貨**を継続して組入れています。一方で、**相対的に利回りが高く、高水準で安定した成長が期待できる**インドなどの国の通貨も組入れることで、ポートフォリオ全体のリスク調整を行なっています。
- 原油価格については、足元軟調ではあるものの、今後はガソリン需要の回復に伴って米国の原油在庫水準も低下するとみており、原油市場の先行きにも期待が持てると考えています。そうしたことから、ロシアやコロンビア、メキシコといった**原油価格上昇の恩恵が見込まれる産油国通貨**の組入比率も高位を維持しています。

### 欧米の政治リスクに警戒し、慎重な運用を継続

- 今年は引き続き、欧米の政治リスクによって市場の変動性が高まる場面も想定されます。こうした新興国市場に影響を及ぼす全ての状況を慎重に見極めながら、今後も相対的に高い利回りと通貨の値上がり益の獲得をめざして運用を行なってまいります。

当資料は、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA」の運用会社である日興アセットマネジメント ヨーロッパリミテッドからのコメントをもとに作成しています。当コメントは、資料作成時点における市場環境もしくは今後の運用方針等について、運用担当者の見方あるいは考え方を記載したものであり、運用方針は変更される場合があります。また、将来の市場環境の変動や運用成果等を保証するものではありません。

※上記は過去のものおよび予想であり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「世界銀行債券ファンド(毎月分配型)／愛称:ワールドサポーター」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## 収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

### 投資信託で分配金が支払われるイメージ

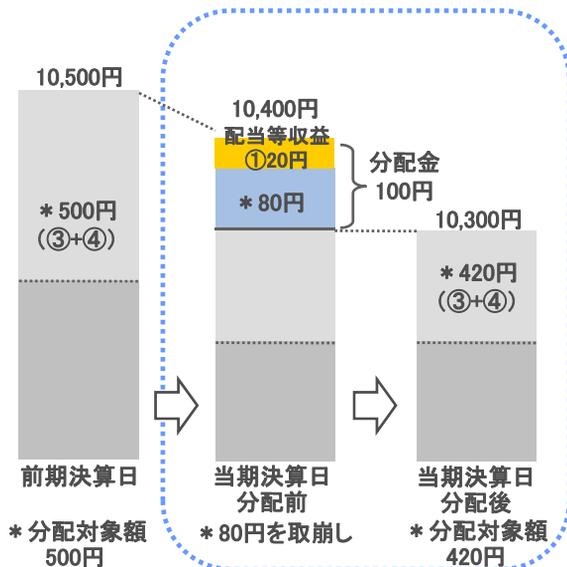
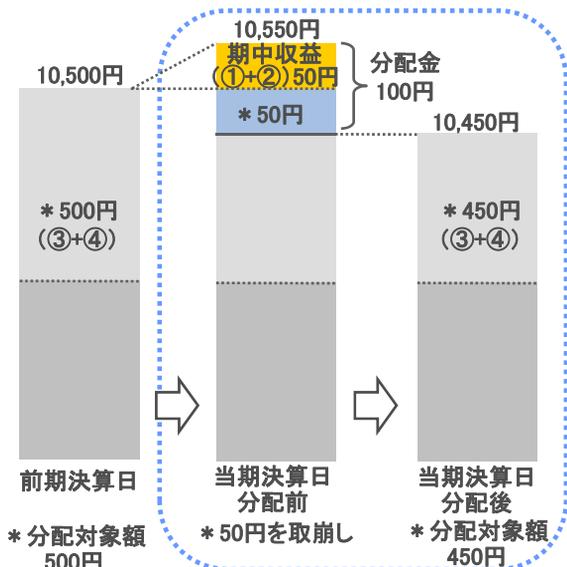


- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

### 計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

#### 前期決算から基準価額が上昇した場合

#### 前期決算から基準価額が下落した場合

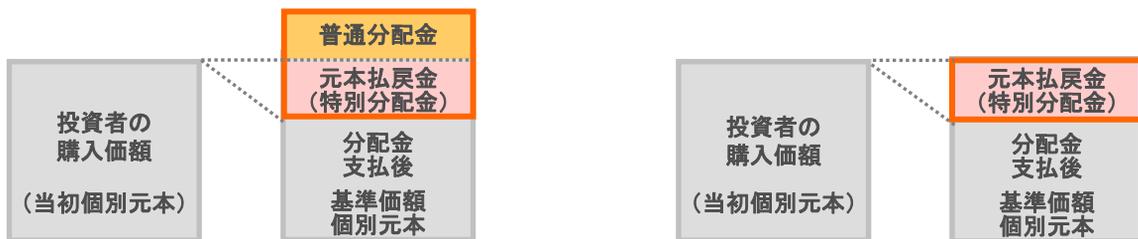


(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。  
 ※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりりが小さかった場合も同様です。

#### 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

#### 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

普通分配金 : 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。  
 元本払戻金 : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、(特別分配金) 元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

## 【お申込メモ】

商品分類	追加型投信／海外／債券
ご購入単位	購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
ご購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
ご購入不可日	購入申込日が英国証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ロンドンの銀行休業日、ニューヨークの銀行休業日のいずれかに当たる場合は、購入のお申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
信託期間	無期限(2007年6月21日設定)
決算日	毎月12日(休業日の場合は翌営業日)
ご換金不可日	換金請求日が英国証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ロンドンの銀行休業日、ニューヨークの銀行休業日のいずれかに当たる場合は、換金請求の受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
ご換金代金のお支払い	原則として、換金請求受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

## 【手数料等の概要】

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

## ＜お申込時、ご換金時にご負担いただく費用＞

購入時手数料	購入時手数料率は、 <u>3.24%(税抜3.0%)</u> を上限として販売会社が定める率とします。 ※ 分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

## ＜信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用＞

信託報酬	純資産総額に対して年率1.295%(税抜1.223%)程度を乗じて得た額が実質的な信託報酬となります。信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率[年率0.972%(税抜0.90%)]、投資対象となるケイマン籍円建外国投資信託「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA」の組入れに係る信託報酬率[年率0.323%程度]となります。 このうち、当該外国投資信託の信託報酬率は、純資産総額や為替相場によって変動します。それに伴ない、実質的な信託報酬率も変動します。 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
その他費用	目論見書などの作成・交付にかかる費用および監査費用などについては、 <u>ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額</u> が信託財産から支払われます。 組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などについては、その都度、信託財産から支払われます。 ※ 組入有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。

※ 当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

当資料は、投資者の皆様へ「世界銀行債券ファンド(毎月分配型)／愛称:ワールドサポーター」へのご理解を高めさせていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## 【お申込みに際しての留意事項】

### リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様には帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に債券を実質的な投資対象としますので、債券の価格の下落や、債券の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

### 【為替変動リスク】【カントリー・リスク】【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※ ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

### その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様は「世界銀行債券ファンド(毎月分配型)／愛称:ワールドサポーター」へのご理解を高めさせていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様には帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

## 【委託会社、その他関係法人】

### 委託会社

日興アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号

加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会

### 受託会社

野村信託銀行株式会社

### 販売会社

販売会社については下記にお問い合わせください。

日興アセットマネジメント株式会社

〔ホームページ〕 <http://www.nikkoam.com/>

〔コールセンター〕 0120-25-1404(午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

## 投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社青森銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第1号	○		
株式会社秋田銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第2号	○		
株式会社阿波銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第1号	○		
株式会社イオン銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○		
株式会社池田泉州銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第6号	○	○	
池田泉州T T証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第370号	○		
株式会社岩手銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第3号	○		
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第6号	○		
SMB C日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○
SMB Cフレンド証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第40号	○		○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○	○
株式会社大分銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第1号	○		
オーストラリア・アンド・ニュージーランド・バンキング・グループ・リミテッド(銀行)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第622号	○		
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	
クレディ・スイス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第66号	○	○	○
株式会社佐賀共栄銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第10号	○		
株式会社佐賀銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第1号	○	○	
株式会社四国銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第3号	○		
株式会社静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第5号	○	○	
株式会社七十七銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第5号	○	○	
七十七証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長(金商)第37号	○		
株式会社ジャパンネット銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○	○	
株式会社十六銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第7号	○	○	
株式会社荏内銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第6号	○		
株式会社常陽銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第45号	○	○	
ソニー銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第578号	○	○	
株式会社第四銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第47号	○	○	
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○		
株式会社千葉銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第39号	○	○	
ちばぎん証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第114号	○		
株式会社東京都市銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第37号	○	○	
株式会社徳島銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第10号	○		
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第24号	○		
株式会社長崎銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第11号	○		
株式会社西日本シティ銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第6号	○	○	
西日本シティT T証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長(金商)第75号	○		
日産証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第131号	○	○	
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○
株式会社八十二銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第49号	○	○	
八十二証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第21号	○	○	
浜銀T T証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1977号	○		
株式会社百五銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第10号	○	○	
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第134号	○		
株式会社百十四銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第5号	○	○	
株式会社広島銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第5号	○	○	
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○		
株式会社福島銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第18号	○		
ほくほくT T証券株式会社	金融商品取引業者	北陸財務局長(金商)第24号	○		
株式会社北陸銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第3号	○	○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○
株式会社みずほ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第6号	○	○	○
株式会社三井住友銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第54号	○	○	○
水戸証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第181号	○	○	
株式会社南日本銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第8号	○		
株式会社宮崎銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第5号	○		
株式会社宮崎太陽銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第10号	○		
株式会社武蔵野銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第38号	○		
株式会社横浜銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第36号	○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○

(50音順、当資料作成日現在)

当資料は、投資者の皆様へ「世界銀行債券ファンド(毎月分配型)／愛称:ワールドサポーター」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。